



なんであんな会社
辞めなかつたんだろう？

今ならそう思えるけど
一種の洗脳状態
だったんだろうな

来世は社畜じゃなくて
どこか平和な世界で
楽しく暮らしたい

そうだな

たとえば——
一国のお姫様とか？

なんであなたは
お姉ちゃん
みたいにな
できないの？

でも
私は夢見た姫でも
国を救う
勇者でもなくて

ニア
あなたもう
10歳になるのよ？

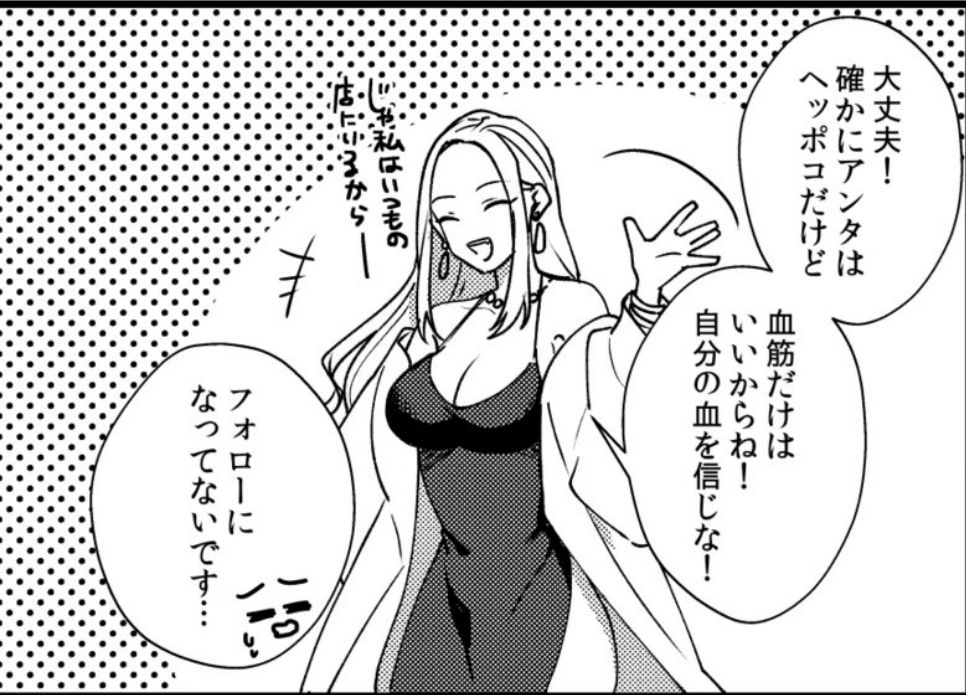
次に見たのは
全く知らない世界

それなのに
小さい子でもできる
初級魔法も
できないなんて…

落ちこぼれの
魔女見習いに
転生した



私たち魔女の
人生には3つの
大きな節目がある



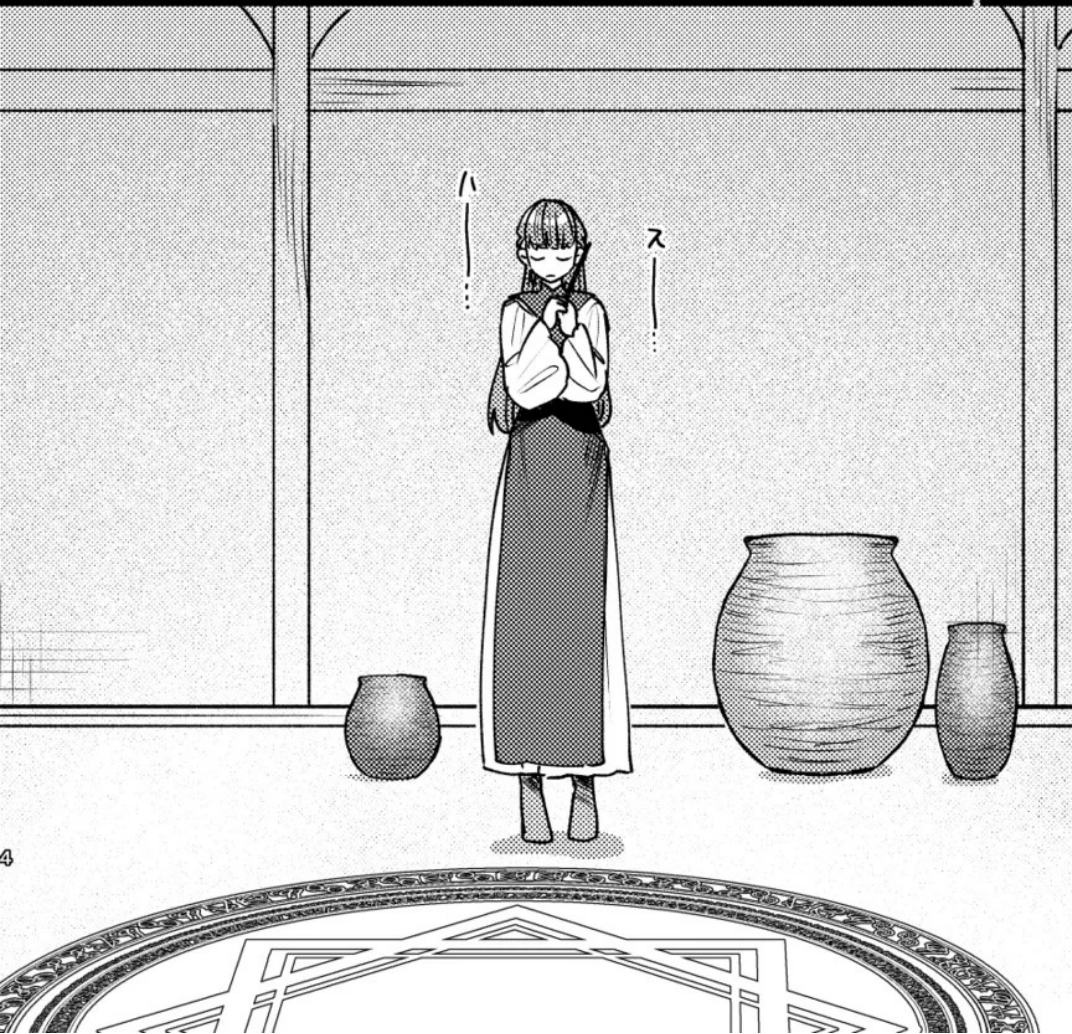
大丈夫！
確かにアンタは
ヘツポコだけど
血筋だけは
いいからね！
自分の血を信じな！

フロローに
なっていないです…

じゃあ私ロイヤル
魔法使いから



師匠：
私にできるかな？



ハ
ス



1度目は10歳で
魔女への弟子入り



「フ」

私の召喚に応じよ

「お」

自分の
使い魔の召喚

2度目は15歳

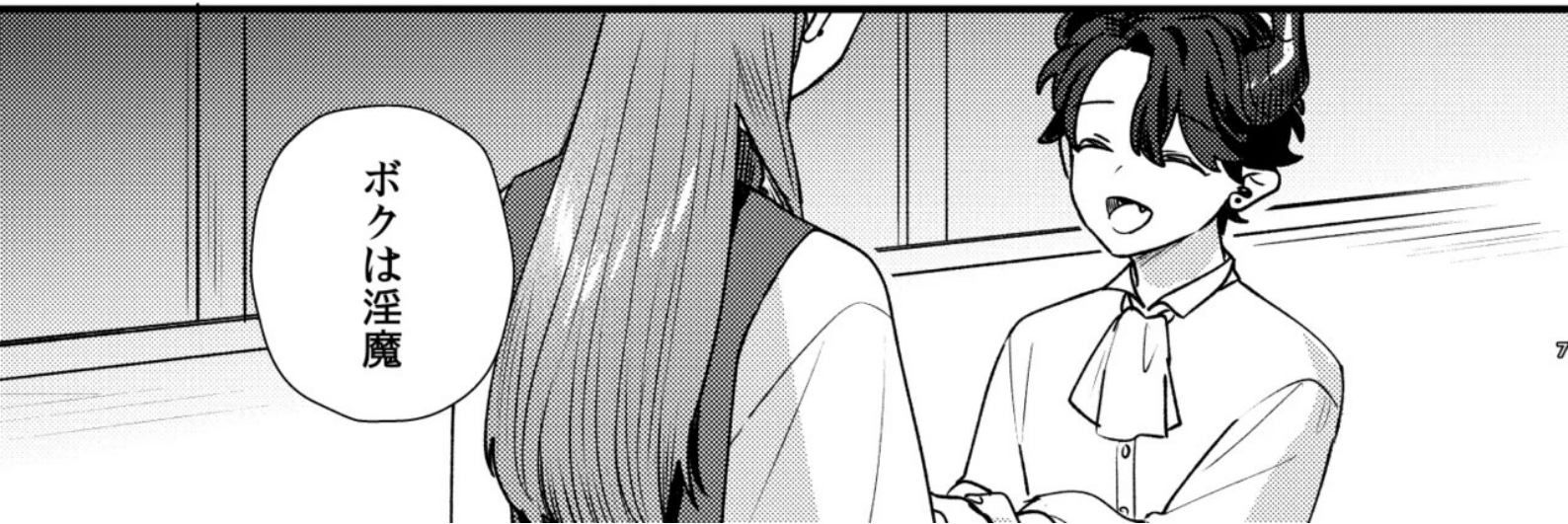
「フ」

使い魔にも様々な
種族がいる

人型の悪魔や
ドラゴン獣…

どんな使い魔が召喚
されるかは召喚者の
素質に左右される







そして3度目は18歳
魔女にとつての
成人の年

師匠の元を離れ
この時に自分の
召喚した使い魔と
本契約を交わす



でも
能力がないから
なにもできない

無能力の
落ちこぼれなんだ

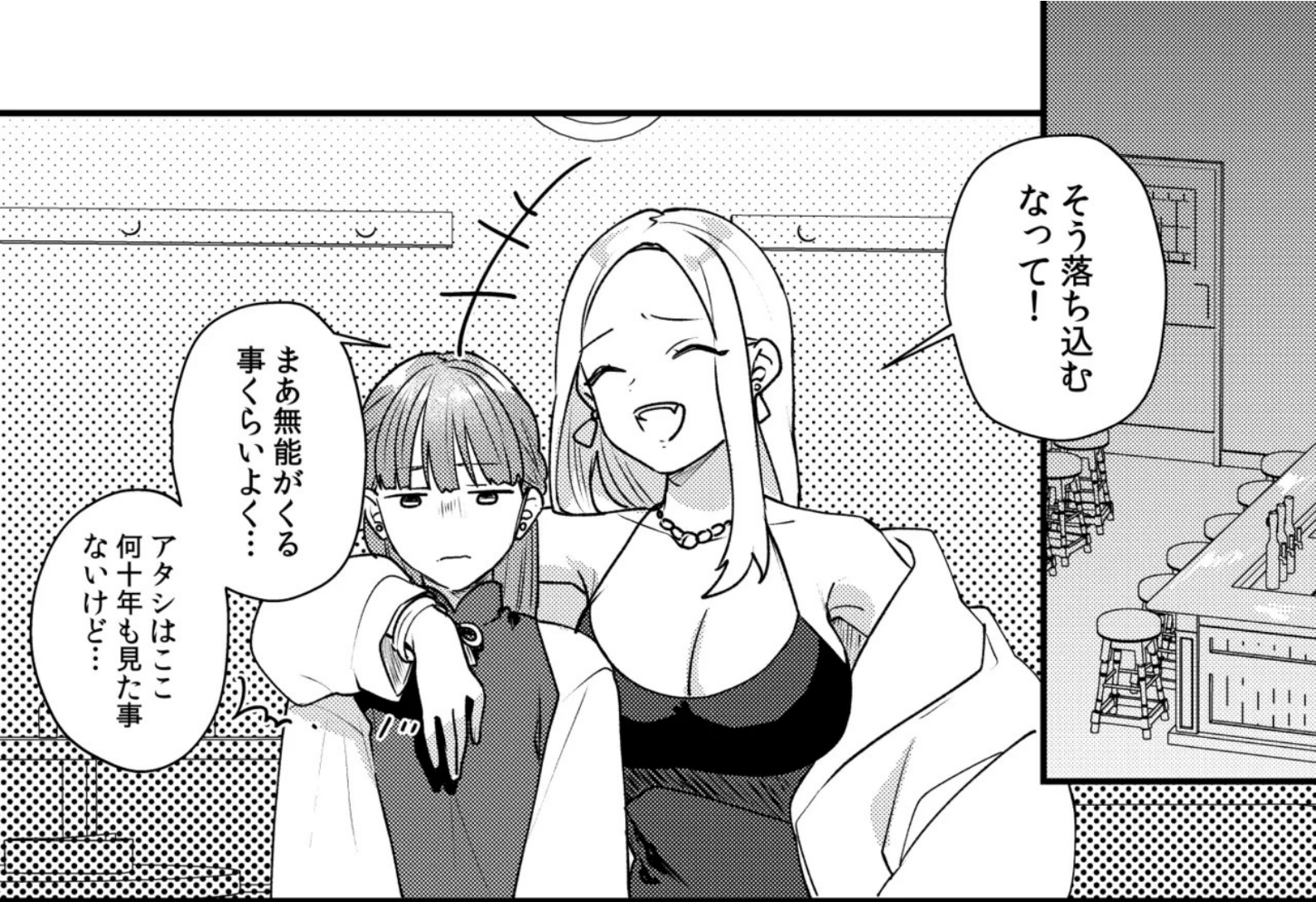
ボクなんか
来てごめんね…



改めて
よろしくね

そんなことない
私と一緒にだね

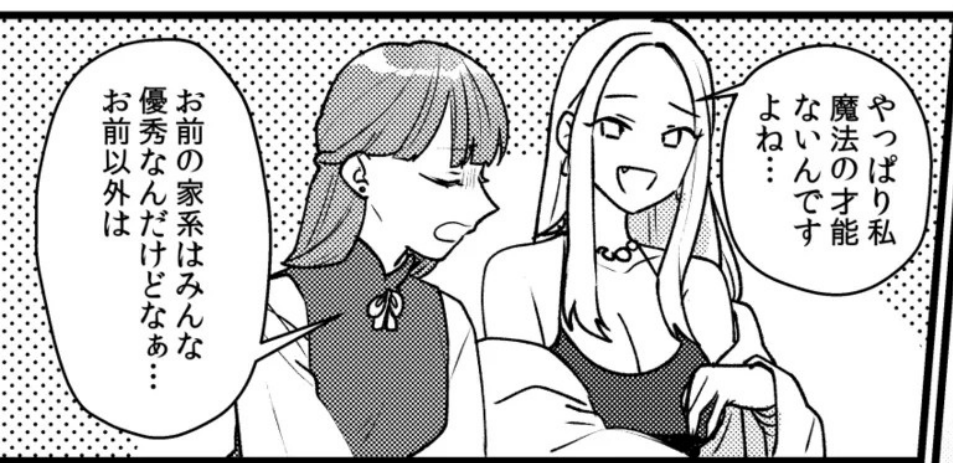
私のところに
来てくれて
ありがとう



そう落ち込む
なつて!

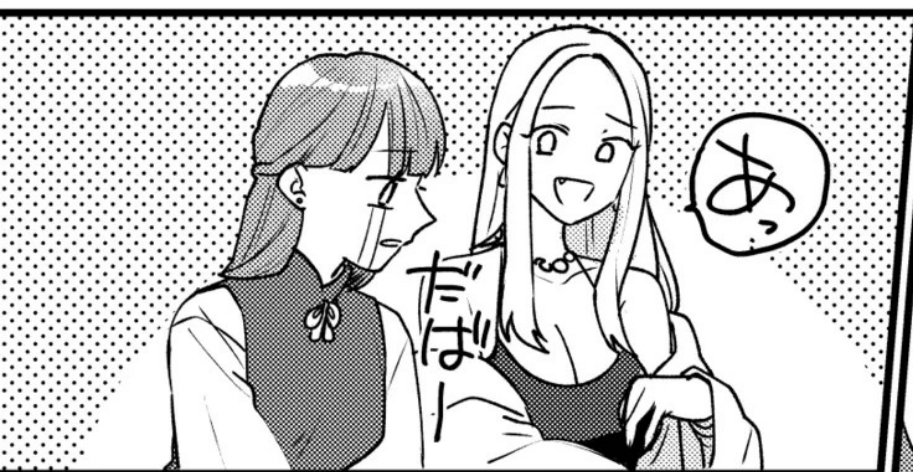
まあ無能がくる
事くらいよく...

アタシはここ
何十年も見た事
ないけど...



やっぱり私
魔法の才能
ないんです
よね...

お前の家系はみんな
優秀なんだけどなあ...
お前以外は



あ

た



そういうことも
あるつて...
しかも淫魔つて...



姉さんなんて
私の歳で
一級悪魔を
召喚したのに

「はあ」

そいつは
特例だよ...

アインは
バケモノ

使い魔とはまだ
仮契約だろ？

だいたいみんな
初めに召喚した奴と
生涯共にするけど

たまに成人で
契約破棄する
ペアもあるんだ



使い魔が
気に入らなきゃ
本契約を結ばなければ
いいのさ



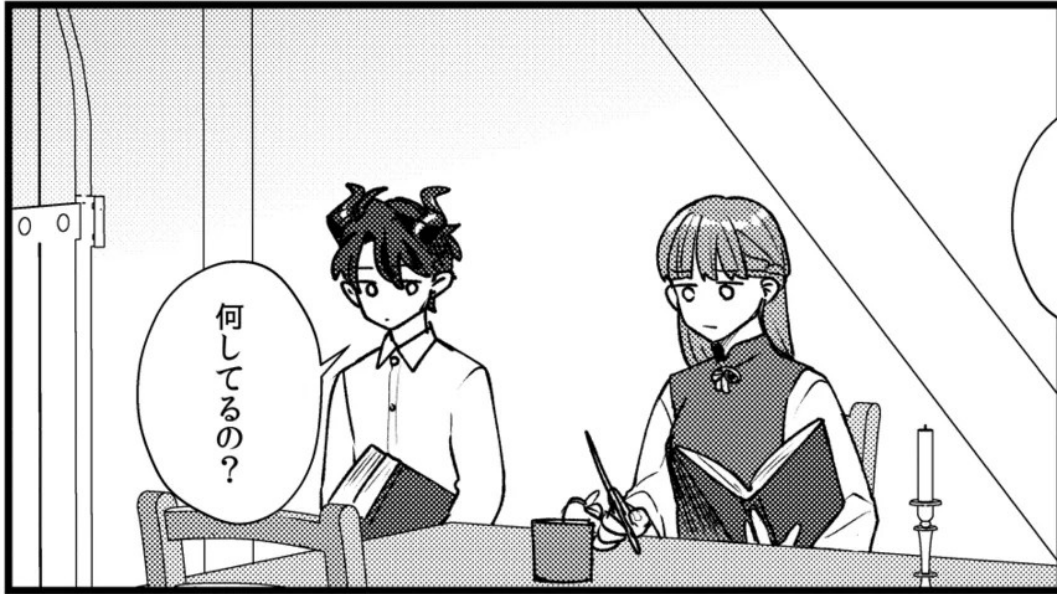
師匠は
こう言ってるけど

無能力な子が来て
落ちこぼれは
私だけじゃ
ないんだって
安心した自分がいる

最低だな



それから
私とサリの
二人暮らしが
始まった



何してるの？

うくん：
できない…



君って時々
よくわからない事
言うね

でも落ちこぼれ
だから平和に
暮らせるん
だらうなあー

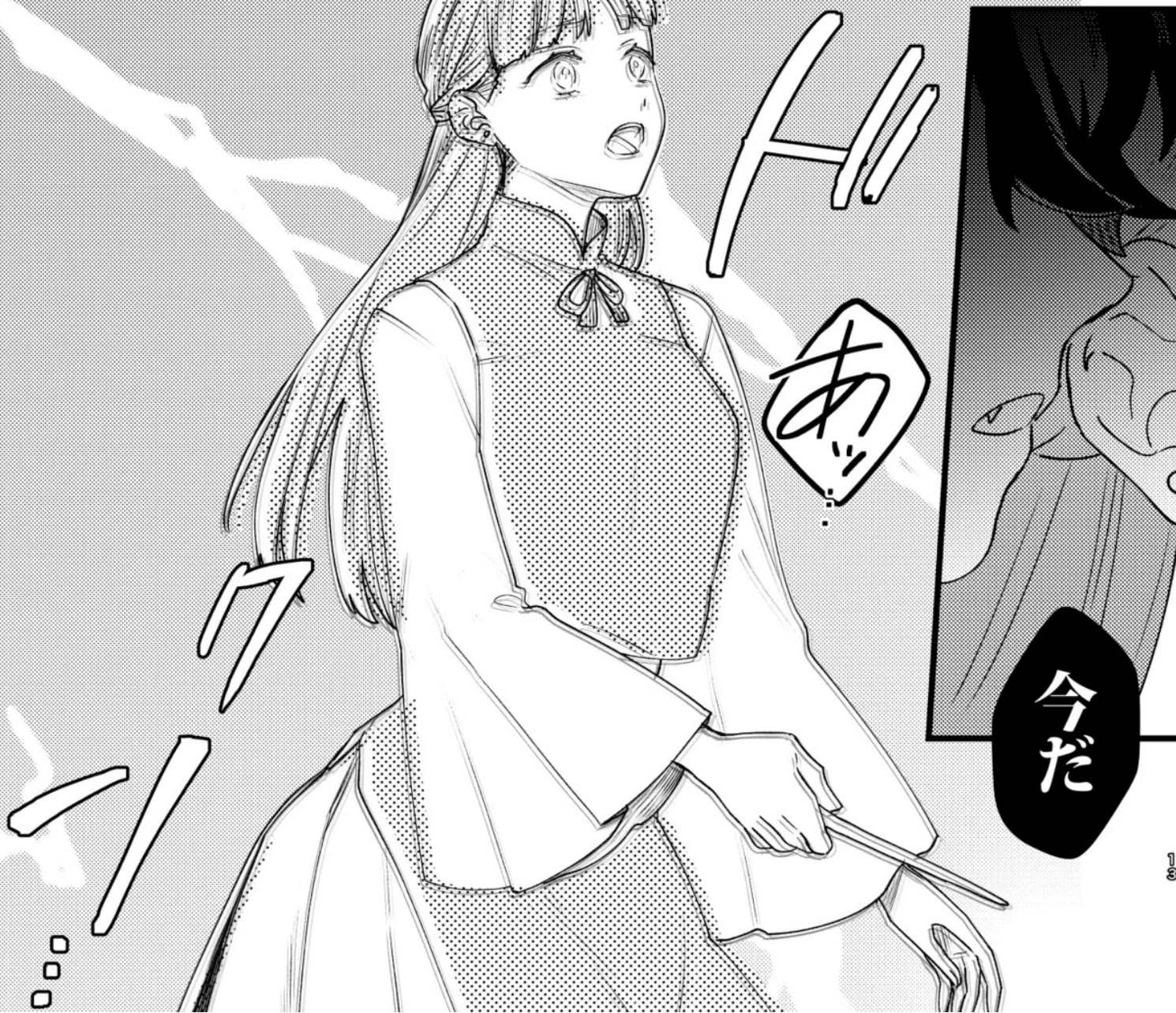
もうどうせなら
天才魔女に
転生したかったよ

あ？！



植物を元気にする
魔法なんだけど
上手くいかなくて



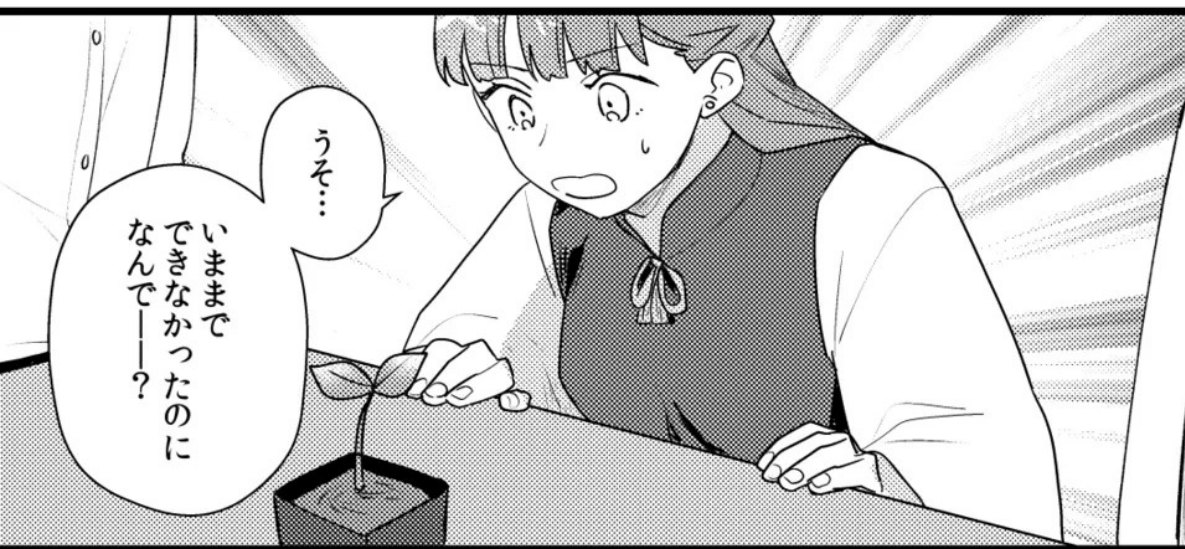




ニア!
やっぱりやれば
できるじゃない



今の何……?
身体に電流が
流れたみたいなの



うそ…
いままで
できなかったのに
なんで……?

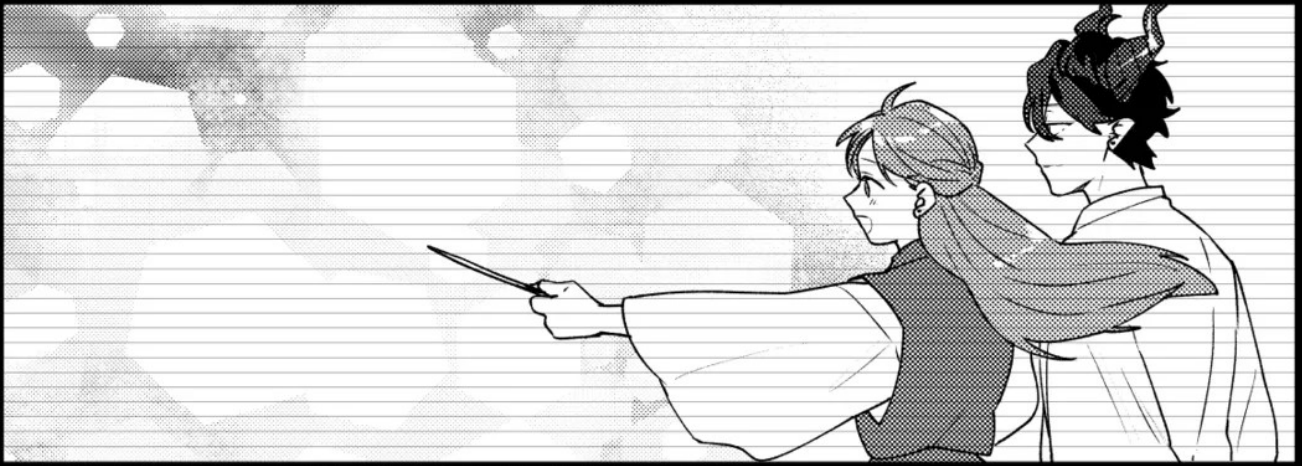


う…うん!
ありがとう!



もしまた
できなかったら
ボクを頼ってよ

キミは魔力を
コントロールするのが
苦手みたいだから
ちよつと補助しただけ
今ので
感覚掴めた?



いつからか
見るようになった
夢がある



起きたらすべて
忘れてしまうけど



「彼」が出てくる
夢の続きが楽しみに
なっていた



顔の見えない
「彼」が「誰」かは
わからないけど



ねえ
そろそろこれ
取っていいでしょ？

それは
ダメだよ



かわいかったよ

「彼」は優しく
いつも私だけを
見てくれる

ボクは酷い姿を
しているから
見られたくない

私は
いつの間にか
顔も知らない
「彼」を好きに
なっていた



いつの間にか
ズツツ...

最近よく
意識飛ぶん
だよなあ

でもいつも
いい夢をみてる
気がするー

ちゅ

18歳の誕生日
おめでとう

ありがとう
サリと出会って
もう3年だね

人間とは違うから
こんなもんだよ

Before

After

…ちよつと
成長早くない？

サリを召喚して3年——
彼の助言(?)のおかげで
私の魔法は驚くほど上達した

ほら
料理が冷める
前に食べて

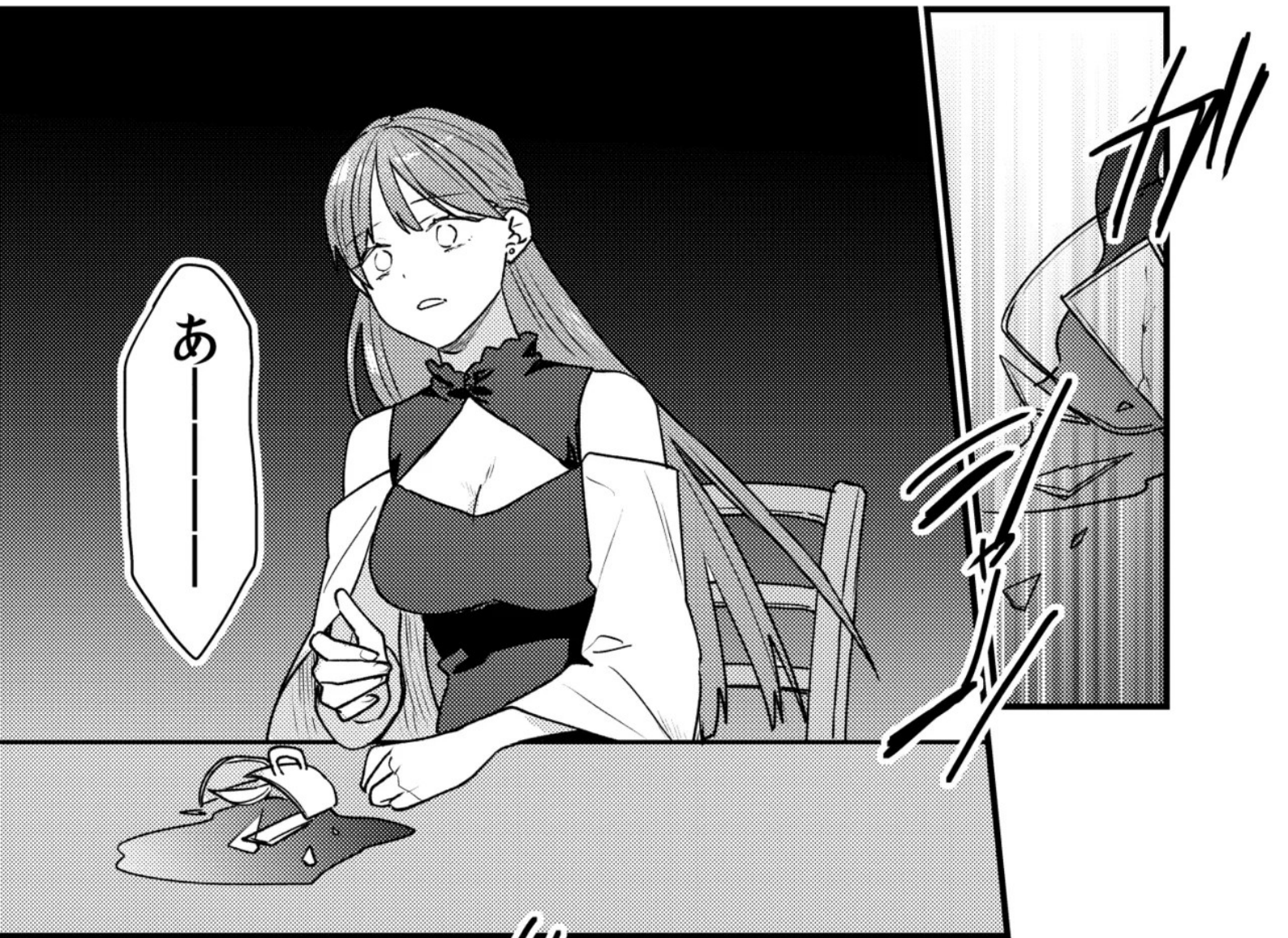
いただきます—

これなら師匠にも
認めてもらえるよね

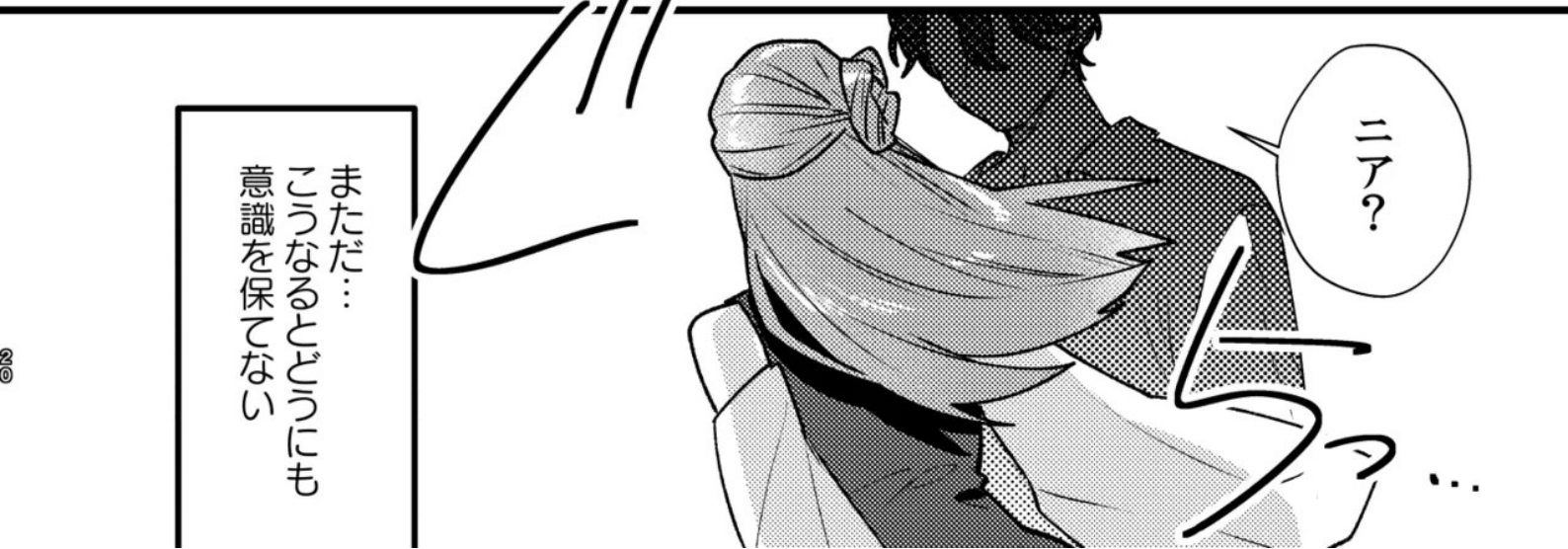




大丈夫




あ——



ニア?

まただ…
こうなるとどうにも
意識を保てない



もうすぐ一人前に
なんだから
しっかりしなきゃ
いけないのに

また
体調悪い？



こうなる時

最後に見るのは
決まって
鮮血みたいな赤――

あつ…
あつ…

あ
これ…

いつもの
夢だ—

あつ…

身体が動かない…
力が…入らない…

「彼」と逢えるなら
正体なんて何でもい
思っていたけど—

あつ…

今は教え
られない

あなたは
誰なの？

あつ…

やっぱり
知りたい

な…
なんで？

君が
壊れちゃうから

でも
もうすぐ分かるよ



—いつもサリが
運んでくれる
のかな



はあ…
はあ…

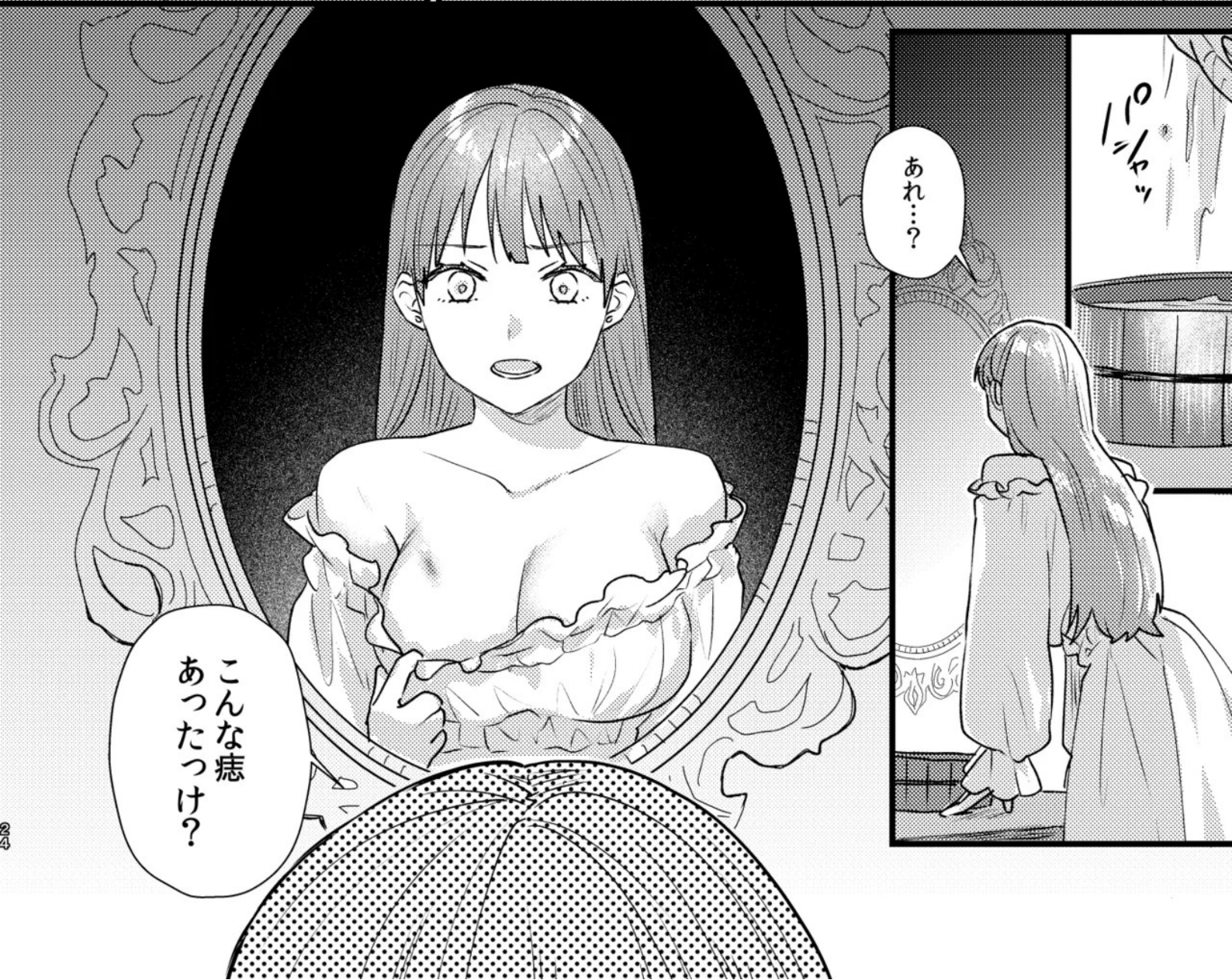
また？

魔法の使いすぎで
疲れてる？



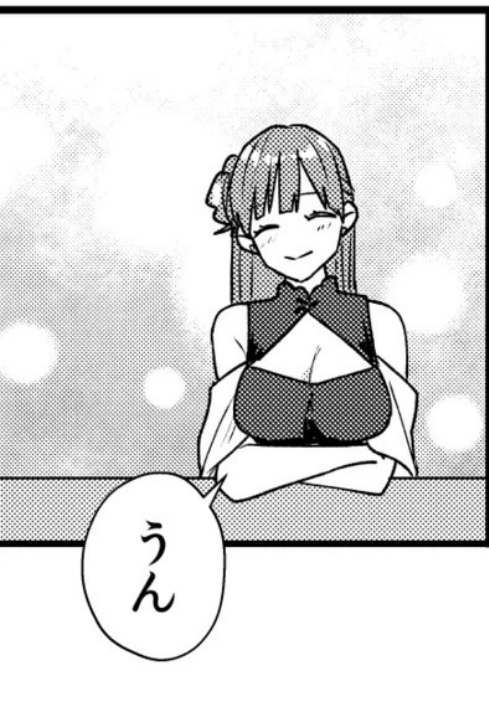
まだ頭
ふわふわしてる…
顔洗おう…

こんな状態で
試験なんて…
大丈夫かな



あれ…？

こんな痣
あったっけ？





つかれたあ〜

ぼす



でもこれで
一人前かあ〜



まさか試験があんなに
過酷だなんて...
師匠鬼みたいだったよ...



一人前...
サリとの本契約...



フーン



使い魔が
気に入らな
きや
本契約を結
ばなければ
いいのさ



合格：
私の魔法の上達っ
ぷりに師匠驚いてた

試験
どうだった？

入っていい？

うん！
うん！



おめでとう

ニアなら大丈夫だと
思ってたけどね

ありがとうございます

それで…
君との契約の
話なんだけど…

本契約は
しなくていいよ

え……？

だって無能なボクとこの先一緒なんて嫌でしょ？

ボクが居たって家政婦と変わらないもの

そんなことないよ…！
サリが居なかったらこんなに魔法上手くなつてなかつたもん！

だから…
もしサリが嫌じゃ
ないなら
契約してほしい

…私との契約なんて
恩返しにならないと
思うけど…
何か力になりたい

ホントに
いいの？

使い魔は
変えられないんだよ？
後悔するかも



私ももう
一人前なんだよ

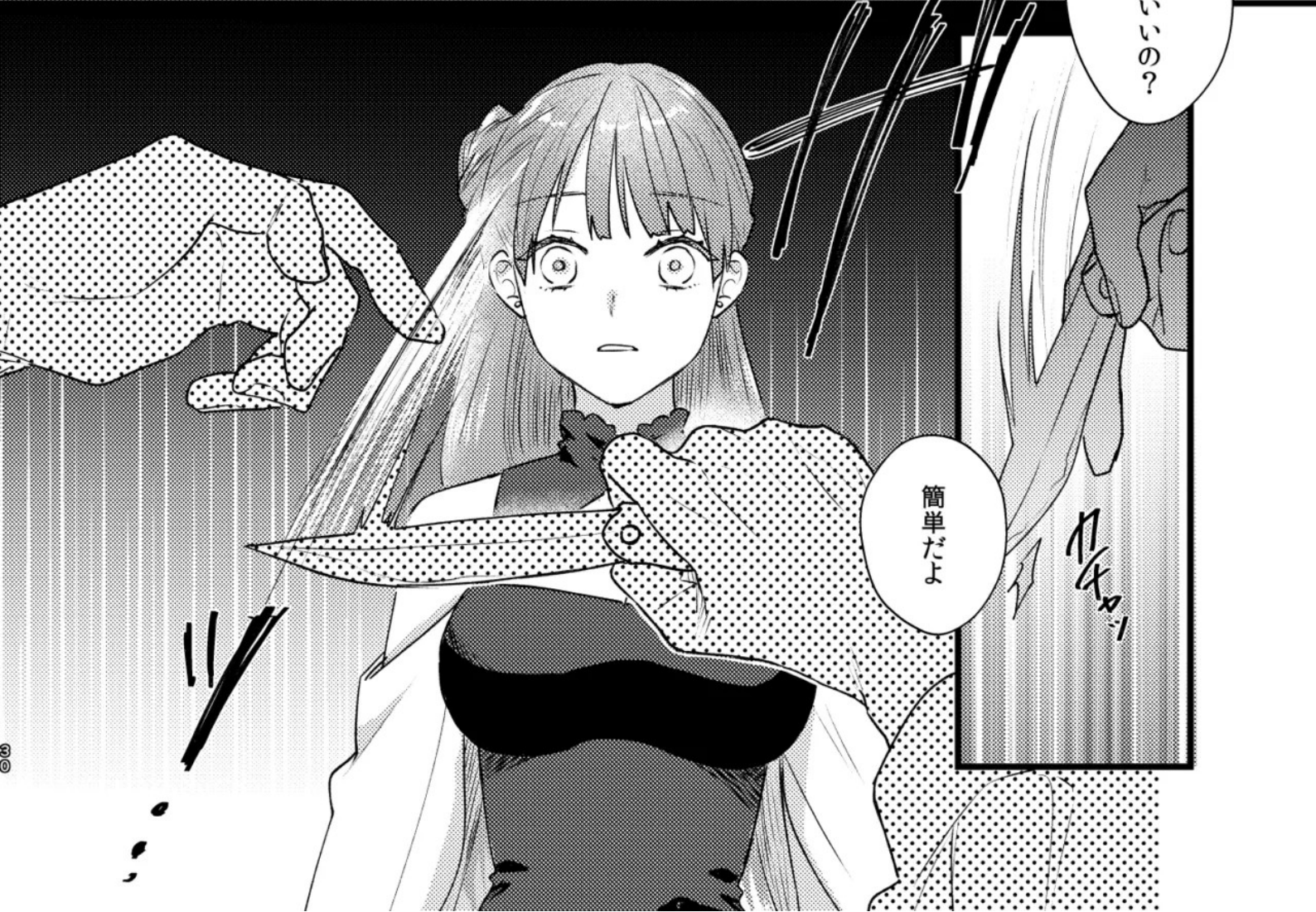
魔法だって人並に
使えるんだから
サリのぶんも
フオローできる

そっか…

なら契約しよっか?



どうすればいいの?



簡単だよ

カキッ

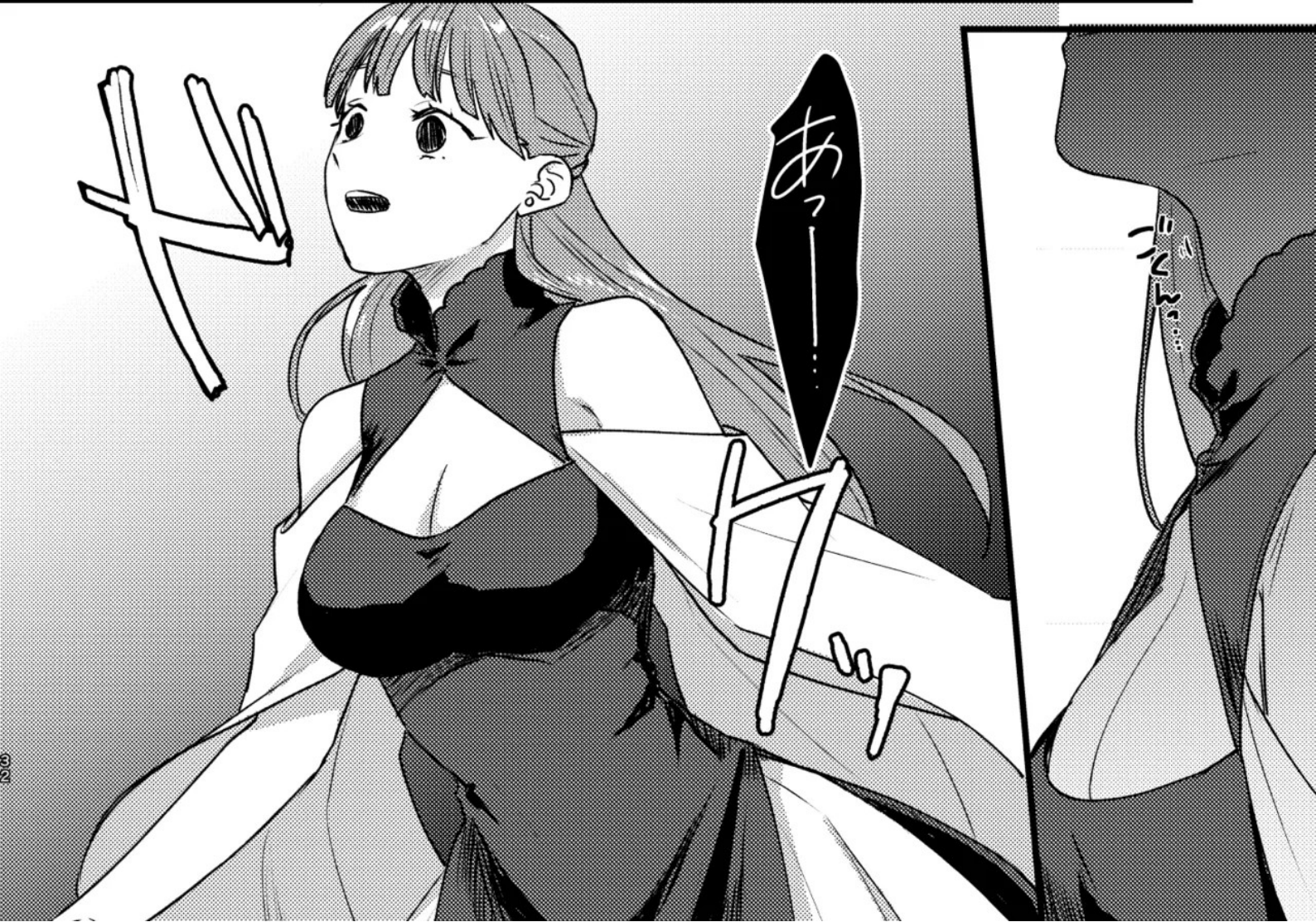
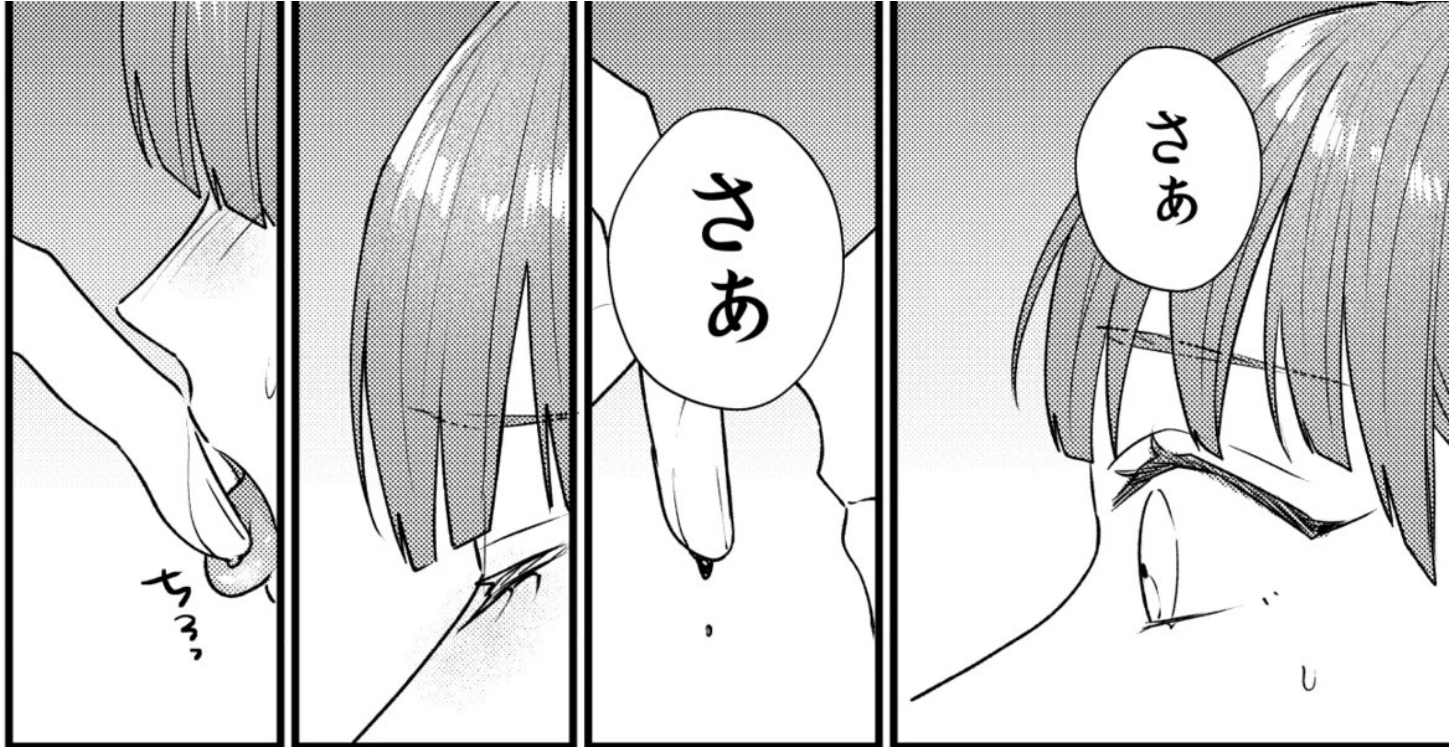
何して
るの…？

血が…！

サ
ー
ッ
…

ボクの
血を飲んで

それで
契約成立





契約成立だね



ニアは馬鹿だなあ



え？



なにこれ…



淫魔の血を
飲むって
どういう事か
わかってる？

は……

は……



つまり



君との
立場が逆転
したんだよ



本来魔女と使い魔の
契約は魔女が条件を
提示して
契約するんだよ？

でも君はボクに
条件提示を求めた

どうして……？

は……

は……



君から少しずつ
力を貰って
一人前になれたよ



召喚された時の
ボクはほんとに
無能だったんだけど

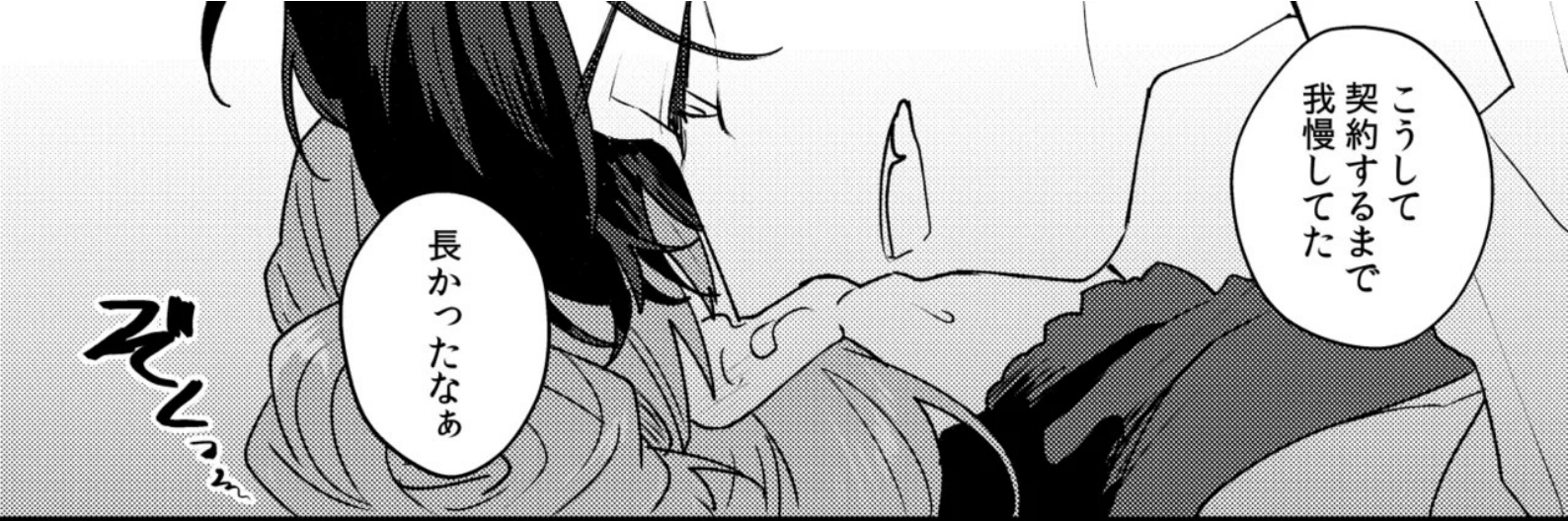


あ…っ
何するの…!



やだ…!
サリ
やめて!

それでも君優位の
仮契約状態じゃ
絶対に負け
ちやうから



こうして
契約するまで
我慢してた

長かったなあ

ズン



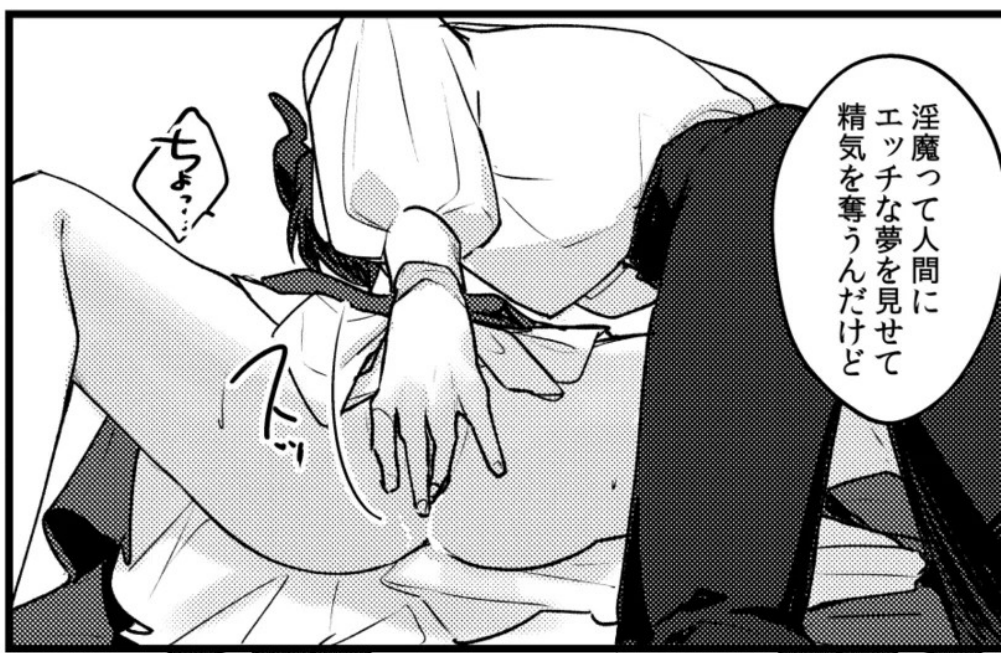
ニアとは
現実でしたかった
んだよね

アハ

メル

メル

ああ



淫魔って人間に
エッチな夢を見せて
精気を奪うんだけど

アハ

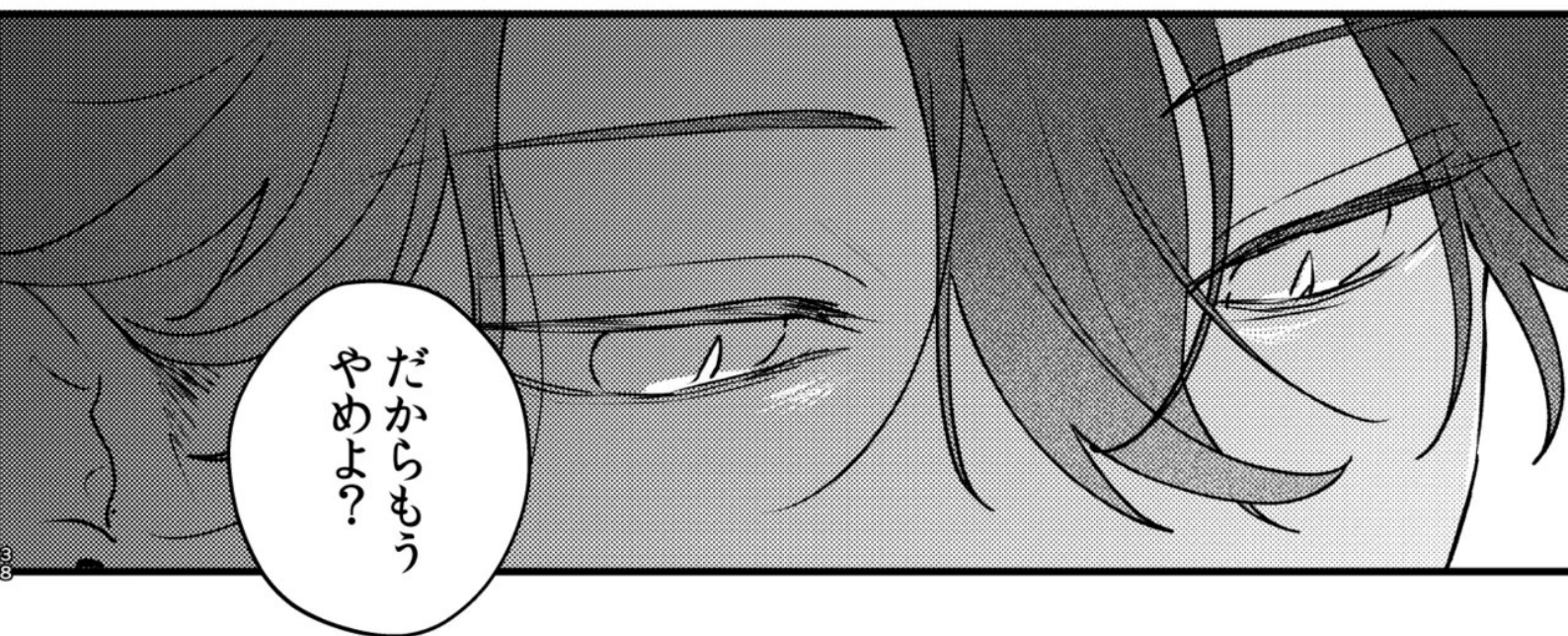
アハ



だめ：
私達そんな関係
じゃないでしょ？



ボクの子を
産んでよ





夢ではあんなに
好きって言うて
たじやない

夢?
なんのこと...

ニア

今から

ニア
ニシ

全部
思い出させて
あげるよ





はー

何で夢で
あんなこと
したの？

はー



サリだー

ニア
かわいい



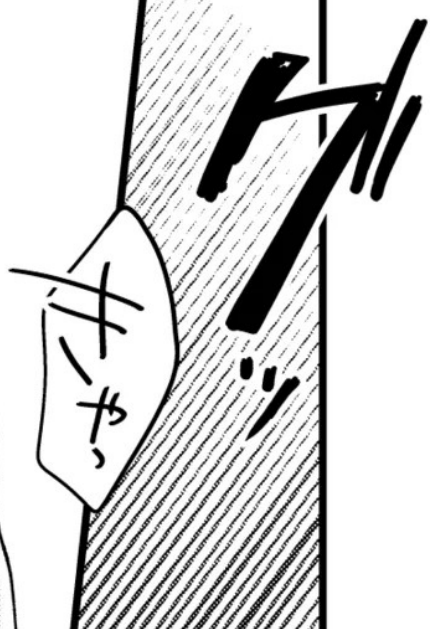
言っただろ？
淫魔は夢で
精気を貰うって

はじめは
ただの食事
だったけど

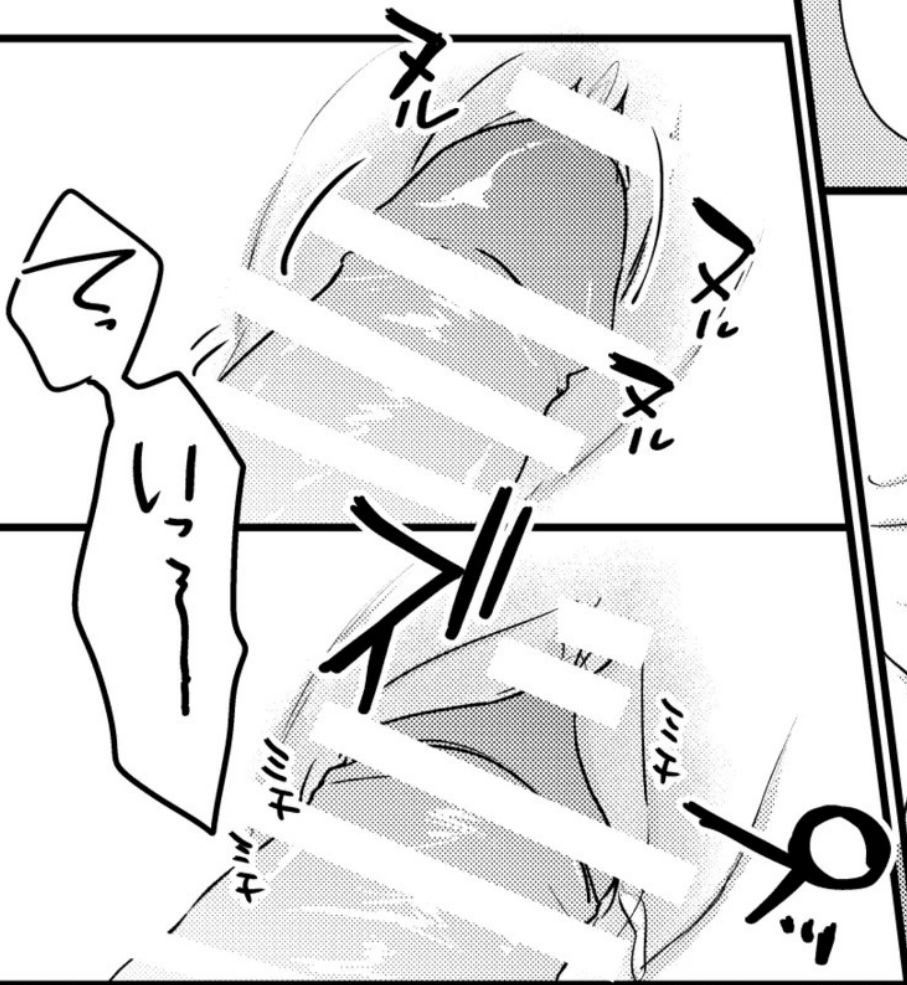
どんどん君が
愛おしくなっ
てきちゃって



絶対にボク
ものにした
って思うよ
うになっ
た



挿入れるね





はー！

はー！

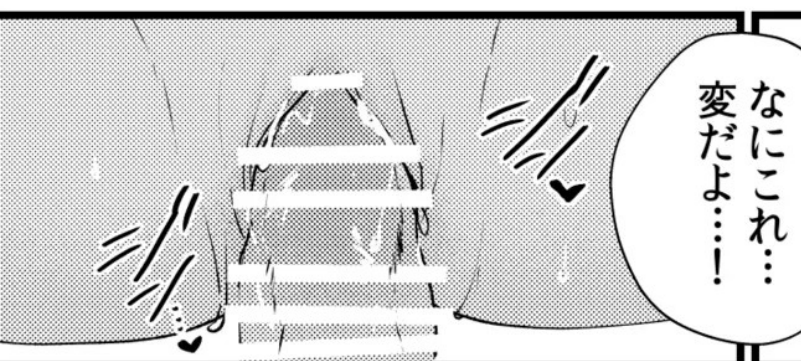
痛くない



ボクのは人間のと
違うからすぐに
馴染むはずだよ



もつと
力抜いて



なにこれ…
変だよ…！



はー！

はー！

なにが…



これだけでも
気持ちいいでしょ？

人間相手とは
全然違う



ニアの初めて
貰えて
嬉しいなあ...

キーン
〜っ...



ほか
知らないから

くらべ
られなあ...♡

あッ



ねえどうして
ほしい?

あ...
はあ...
そのまま
動いて...

ズン
ズン

あッ



あッ

おん

あッ

おん

おん
おん

おん



あ
あたま…
とけそう

こんなのが
ずっと続いたら
へんになる
ぬちゅ

ぬちゅ
ぬちゅ
ぬちゅ



ボクも
嬉しいよ

あはは
あはは
あはは



ニアすつごく
気持ちよめそう

あはは



夢のこと
全部思い出した

彼はサリで
サリは彼…

ニア
大好き



それは無理

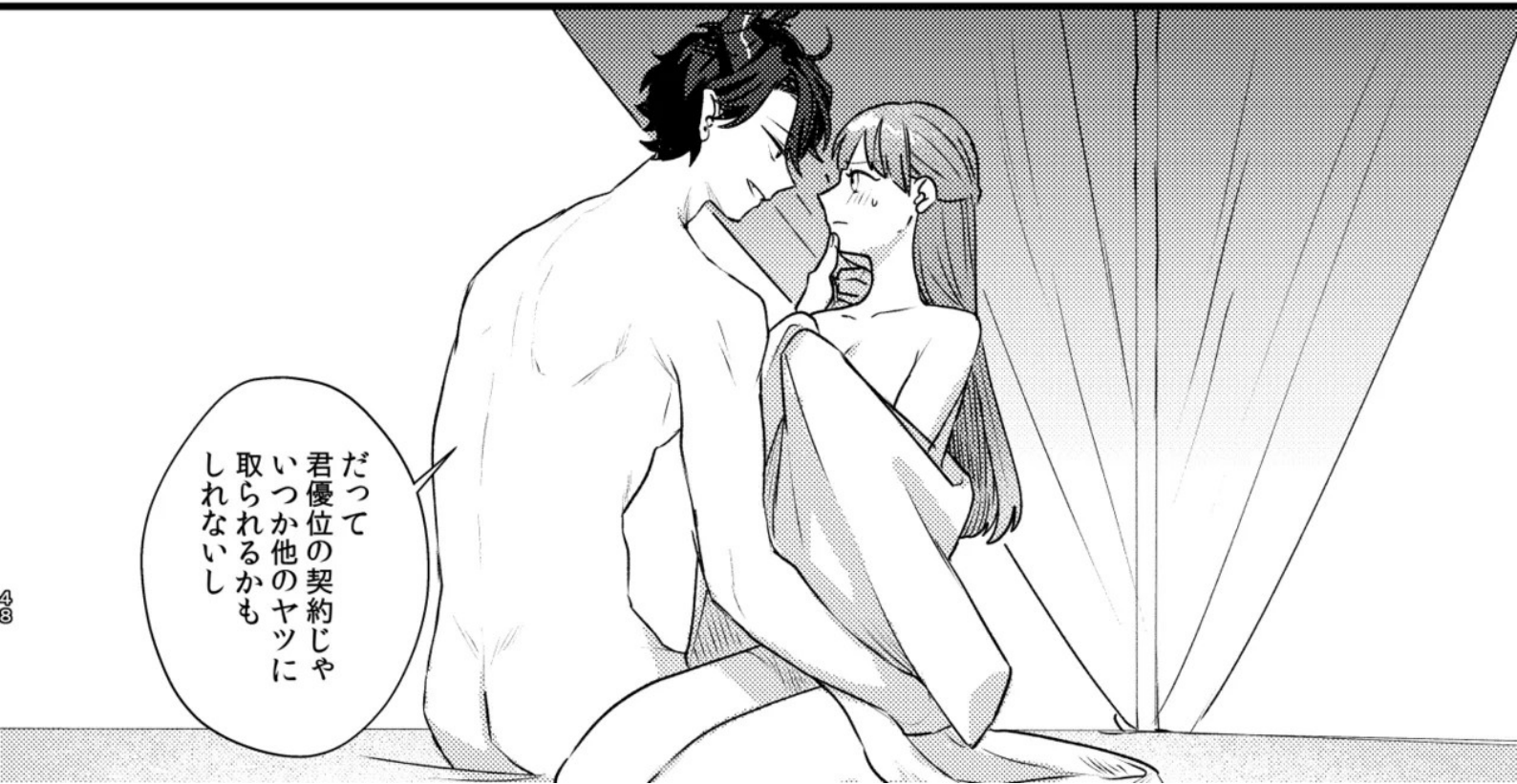
なんで…!?

ニクッ



なら
契約破棄して?

正式に魔女と
使い魔の契約を
結びましょう?



だって
君優位の契約じゃ
いつか他のヤツに
取られるかも
しれないし



なっ...

かあ

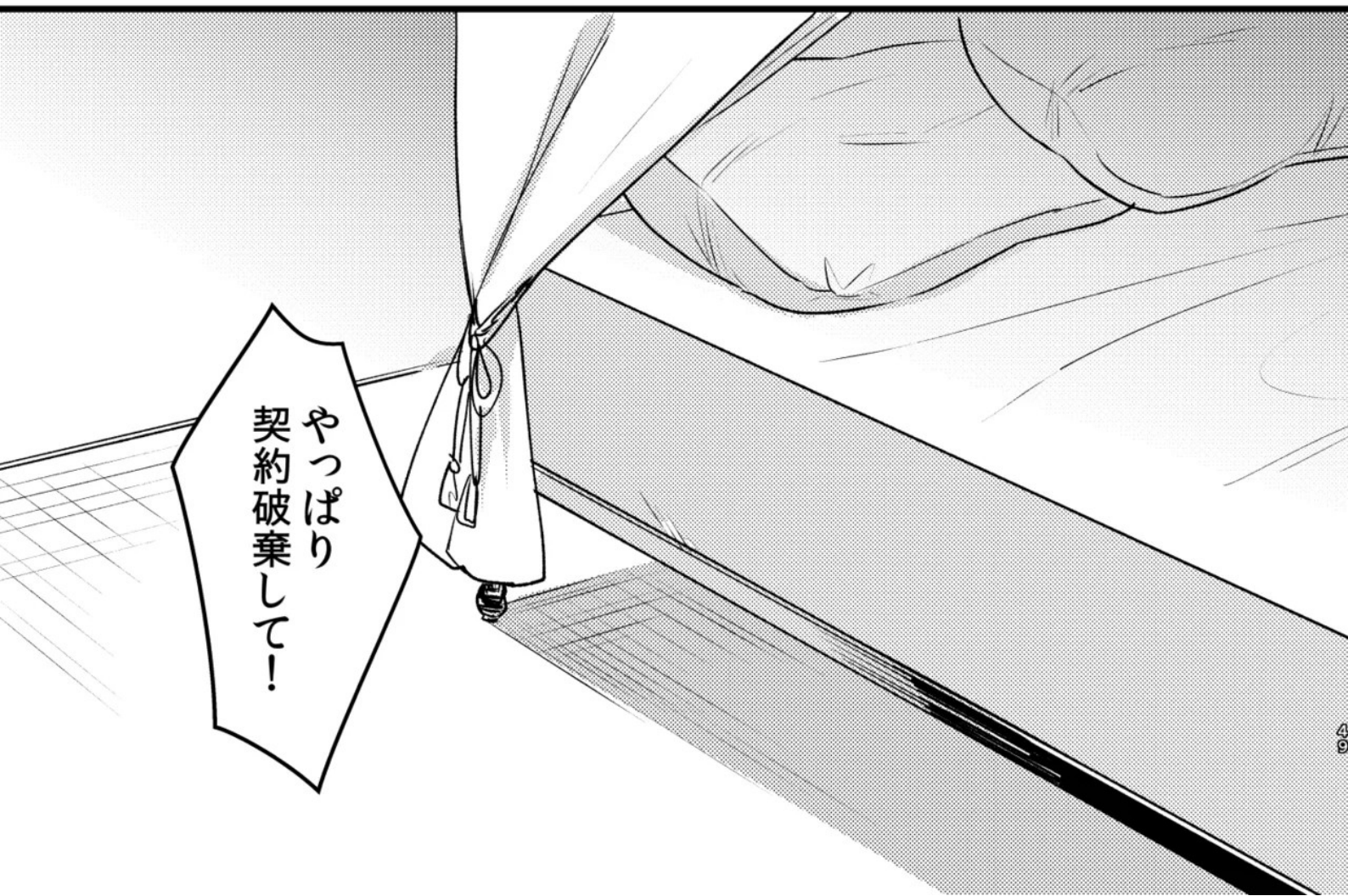


ほら

それにね
淫魔と契約して
するエッチって

普通にするより
気持ちいいんだよ

んごよ



やっぱり
契約破棄して！

ここまで読んでいただきありがとうございました。
姉サイドのお話しも描きたいです。

takanagohan/高菜しお
PIXIV : 73809908

2021/10

